

2020-2021 年研究実績一覧

(合計インパクトファクター 45.666)

■ 原著論文

1. 小池創一、松本正俊、鈴木達也、寺裏寛之、前田隆浩、井口清太郎、春山早苗、小谷和彦. 医療計画におけるへき地医療に関する研究. *厚生の指標* 67(5): 20-26, 2020
2. Hatano Y, Inoue K, **Kashima S**, **Matsumoto M**, Akimoto K. Serum alanine transaminase as a predictor of type 2 diabetes incidence: the Yuport prospective cohort study. *Tohoku J Exp Med* 251(3):183-191, 2020.
3. Mutai R, Sugiyama Y, **Yoshida S**, Horiguchi R, Watanabe T, Kaneko M, Tominaga T, Hayashi D, Matsushima M. Development and validation of a Japanese version of the Patient Centred Assessment Method and its user guide: a cross-sectional study. *BMJ Open*10:e037282, 2020.
4. Higashikawa F, Danshiitsoodol N, Kanno K, **Ishida R**, Tazuma S, Sugiyama M. *Lactobacillus plantarum* SN13T cells improve hepatic dysfunction and fecal microbiota: A randomized pilot study. *Arch Clin Biomed Res*, 4(6):605-625, 2020.
5. Hatano Y, Reingold A, **Kashima S**, Kaihara M, Takase K, Hatakeyama S, **Matsumoto M**. Predictive variables for hemodialysis and death in Japanese spotted fever, and the association between distance from rivers and incidence. *Ticks Tick Borne Dis*.12(1):101544, 2021.
6. Suzuki T, Koike S, **Matsumoto M**. Effect and Significance of incorporating access in estimating the number of required physicians: Focus on differences in population density in the target area. *Int J Health Geogr* 20:21, 2021.
<https://doi.org/10.1186/s12942-021-00274-0>
7. **Kashima S**, Inoue K, **Matsumoto M**. Low creatinine levels in diabetes mellitus among older individuals: the Yuport Health Check-up Study *Sci Rep* 11(1), e15167, 2021
8. **Matsumoto M**, Matsuyama Y, **Kashima S**, Koike S, **Okazaki Y**, Kotani K, Owaki T, Ishikawa S, Iguchi S, Okazaki H, Maeda T. Education policies to increase rural physicians in Japan: a nationwide cohort study. *Hum Resour Health* 19: 102, 2021.
9. Peng X, Nakatani H, Kakehashi M, **Matsumoto M**. A study of the structure of university students' awareness of long-term care socialization. *Healthcare* 9(9):1106, 2021.

10. Kario K, Hoshide S, Narita K, Okawara Y, Kanegae H, **Investigators' Network**. Cardiovascular prognosis in drug-resistant hypertension stratified by 24-hour ambulatory blood pressure: the JAMP Study. *Hypertension* 78(6), 1781-90, 2021
11. **Yoshida S, Kashima S, Matsumoto M**. The effect of the 2018 Japan Floods on cognitive decline among long-term care insurance users in Japan: a retrospective cohort study. *Environ Health Prev Med*. 26(1):113, 2021.
12. Ichikawa H, Sugiyama Y, Mutai R, Yamada T, Wakabayashi H, Nakano Y, **Yoshida S**, Hayashi T, Murayama S, Matsushima M. Self-interruption of Helicobacter pylori Eradication Therapy and Its Associated Risk Factors. *Jikeikai Med J* 2021; 68: 33-43

■ 総説論文、症例報告論文、研究レター等

1. Kashima S, Inoue K, **Ishida R, Matsumoto M**, Hatano Y, Akimoto K. Levels of fasting plasma glucose in non-hospitalized older people with high HbA1c levels. *J Diabetes Investig* 11(3):750-751, 2020
2. Teraura H, Iguchi S, Maeda T, Koike S, **Matsumoto M**, Haruyama S, Kotani K. The use of information and communication technology in Japanese rural clinics. *J Rural Med* 2021; 16(4):
3. 松本正俊 : My Favorite Papers 論文の山を登ることで眺望が広がる 週間医学界新聞 3368(2020年4月20日号); 4, 2020
4. 岡崎悠治、松本正俊 : 将来の地域医療を支える人材の養成 : 地域卒制度 カレントセラピー 38(11); .2020
5. 吉田秀平 : 在院日数を左右する「北風と太陽」強引は逆効果? 連載 : プライマリ・ケア連合学会が贈る『現場で使える総合診療』日経メディカル (オンライン) 2020/10/26
6. 吉田秀平 : "Common disease 診療のためのガイドライン早わかり (第 36 回) 高尿酸血症・痛風." G ノート 8.3 (2021): 573-581.
7. 吉田秀平 : "EBM" 新・家庭医療専門医 ポートフォリオ実例集 南山堂 (2021): 74-79.
8. 石田亮子 : 漢方ベースキャンプ! プライマリ・ケアでの使いどころを考える 調剤と情報 27 (11); 2021.

■ 競争的外部研究費獲得

代表研究者として

1. 平成 30 年度～令和 4 年度文部科学省科学研究費補助金「地域枠出身医師の進路に関するコホート研究とエビデンスに基づく政策の提案」（基盤 C：代表**松本正俊**） 429 万円
2. 日本プライマリ・ケア連合学会 2020 年度研究助成 個人研究（代表**吉田秀平**） 10 万円
3. 平成 31 年度～令和 4 年度文部科学省科学研究費補助金「西日本豪雨の介護保険サービスへの影響に関する後ろ向きコホート研究」（若手研究：代表**吉田秀平**） 416 万円

分担研究者として

1. 令和 2～6 年度文部科学省科学研究費補助金（基盤 C）「医師の属性は人口地理的分布にどのように関わっているか-縦断的分析」（代表帝京大学井上和男、分担**松本正俊**）
2. 平成 30～令和 2 年度厚生労働省科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）「へき地医療の向上のための医師の働き方およびチーム医療の推進に係る研究」（代表自治医科大学小谷和彦、分担**松本正俊**）
3. 平成 30～令和 3 年度文部科学省科学研究費補助金（基盤 C）「6 年制薬学教育および薬学部新設は薬剤師分布を改善したか：人口地理指標からの分析」（代表帝京大学安藤崇仁、分担**松本正俊**）
4. 令和 2～4 年度厚生労働省科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）「医師確保計画を踏まえた効果的な医師偏在対策の推進についての政策研究」（代表自治医科大学小池創一、分担**松本正俊**）
5. 平成 31～令和 3 年度厚生労働省科学研究費補助金（政策科学総合研究）「医師の専門性を考慮した勤務実態を踏まえた需給等に関する研究」（代表自治医科大学小池創一、分担**松本正俊**）
6. 令和 3～5 年度厚生労働省科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）「医師養成課程を通じた偏在対策の効果検証のための研究」（代表自治医科大学小池創一、分担**松本正俊**）

■ 報告書

1. 全国医学部長病院長会議(AJMC)調査委員会(松本正俊他 9 名)：令和元年度地域枠入学制度と地域医療支援センターの実情に関する調査報告 AJMC 発行 2020
2. 全国医学部長病院長会議(AJMC)調査委員会(松本正俊他 8 名)：令和 2 年度地域枠入学制度と地域医療支援センターの実情に関する調査報告 AJMC 発行 2021

■ 学術誌編集

2010年から学術誌 Rural and Remote Health のアジア地区編集長 (Asian Regional Editor) を松本が務め、アジア地区からの投稿論文の採否決定を行っている。また2016年から日本プライマリ・ケア学会の英文誌 Journal of General and Family Medicine の編集委員 (Associate Editor) も松本が務めている。

■ 招待講演・座長等

1. 松本正俊、宮森大輔、田妻進、漢方教育研究グループ：多施設による Web テストを用いた漢方教育の標準化への試み 漢方医学教育 SYMPOSIUM 2020 (東京) (令和2年2月8日)
2. 松本正俊：令和元年度第2回全国医学部長病院長会議地域枠制度についての意見交換会 (東京都) (令和2年2月15日) (座長・司会)
3. 松本正俊：学生セッション (ポスター①) 第12回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 (福岡市) (令和2年7月5日～オンデマンド) (座長)
4. 松本正俊：学問のススメ～どこにでもある研究シーズ～ (演者福原俊一) 第11回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 (広島市) (令和2年7月22日～オンデマンド) (座長・司会)
5. 松本正俊：地域でプライマリ・ケアを教える：卒前、臨床研修、専門研修 (全国地域医療教育協議会との合同企画) 第11回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 (広島市) (令和2年9月1日～オンデマンド) (座長・司会)
6. 松本正俊：論文の質を高める：high volume academic GP への道 第11回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 (広島市) (令和2年9月1日～オンデマンド) (座長・司会)
7. 松本正俊：地域枠出身医師の進路に関するコホート研究とエビデンスに基づく政策の提案 第27回ファイザー・ヘルスリサーチフォーラム (東京) (令和2年12月13日オンライン)
8. 松本正俊：指定発言 地域づくりと魅力的な介護予防に関するセミナー (令和3年3月18日オンライン) (シンポジスト)
9. 松本正俊：地域枠および自治医科大学出身医師の進路に関するコホート調査結果 令和2年度全国医学部長病院長会議地域枠制度についての意見交換会 (令和3年3月21日オンライン) (シンポジスト)

10. 松本正俊：学生セッション2（活動報告①）第12回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（福岡市）（令和3年5月22日～オンデマンド）（座長）
11. 松本正俊：地域医療教育、地域枠、そして自治医科大学：歴史と成果を振り返る 第53回日本医学教育学会特別シンポジウム「コロナ禍を経て見えてきた地域医療教育の進化と本質」（令和3年7月30日オンライン）（シンポジスト）

■ 学会発表

- 1 吉田秀平：日本の家庭医療専門医の地理的分布に関する全国横断研究：家庭医療専門医が医師分布に与える影響（大会長賞候補演題）第11回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（令和2年7月23日～オンデマンド）（筆頭演者）